

研究報告 6

積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成

－「英語の歌」「自己表現活動」「発表」を取り入れた言語活動の工夫－

愛知県立松平高等学校 教諭 山本 徳子

1 はじめに

英語の授業では、どのように教えるかは、教員によっていろいろなアプローチの仕方があるが、生徒の到達レベルや興味・関心に応じて柔軟に授業を工夫し、授業を臨機応変に展開していく必要があると考えている。教員が一人で講義するような授業になってしまえば、生徒は飽きてしまい、参加しなくなってしまう危険性がある。英語による授業が求められる中で、生徒に意欲的に参加させるためには、教員による豊富なアイデア、生徒にとって興味・関心の高い題材を取り入れること、分かりやすいワークシートの作成等が必要になってくる。また、できるだけ生徒に英語を使わせるために、発表の場をいかに効果的に設けるかが課題である。

本校では、1年生以外は分割の少人数で英語を教えることが多く、ペア活動、グループ活動を行いやすい環境になっている。今後、より効果的な言語活動を行うために、達成可能な到達目標を設定し、生徒の学習意欲を喚起しながら、できるだけ楽しく教えて、授業の活性化を図りたいと思う。

2 生徒の実態

本校は、中学校から英語を不得意とする生徒が多いという特徴がある。しかし、生徒達は、達成可能で興味・関心のある活動には積極的に参加する傾向がある。

第1学年80名のアンケート結果によると、授業でコミュニケーション能力を身に付けたいと思っている生徒が63.8%、4技能の中で英語を「話す力」を高等学校の3年間で身に付けたいと思っている生徒が51.3%と最も多い。英語の授業を通して身に付けたい能力を尋ねたところ、洋画や洋楽を理解しながら聞けるようになりたい、海外のニュースを英語で読めるようになりたい、将来外国の人に自分の思いや考えを相手に伝えることができるようになりたいと希望している生徒が多いことが分かった。

3 研究の目的

教員が授業で英語を使って内容を理解させ、生徒に自分の伝えたいことを英語で表現させることがこれからの英語教育に求められる。内容のあることを話す場合は、あらかじめ頭の中で整理された文が書けていないと、説得力のあるスピーチを行うことはできない。生徒が希望するようなコミュニケーション能力を養うために、メッセージを正確に聞き取ろうとする意欲、そして自分の考えを伝えるための英作文の意欲・能力を向上させるための授業を考案してみたい。

【目指す生徒像】

英語に興味・関心をもって、意欲的に相手の伝えているメッセージを理解し、自らの考えを英語で伝えることにより、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒。

4 研究の仮説

仮説1：生徒の身近で興味のある英語の歌を教材として取り入れ、歌詞の中のメッセージを正確に聞き取らせ、歌わせることにより、英語を聞くことへの意欲が増し、生徒の英語学習に対する興味・関心を高めることができるだろう。

仮説2：教科書本文から読み取った内容を基に自分の考えを英語で作文し、クラス全員の前で発表し、相互評価をすることにより、自己表現への意欲が高まるだろう。

5 研究の方法

研究の仮説を検証するため、以下の方法で実践を行うことにした。

(1) 英語学習に対する意欲向上のために、英語の歌を聞かせ、歌わせる授業の工夫の手だて (第1学年で実施)

ア ワークシートを用いて、正確に聞き取らせて、メッセージを理解させる。

(ア) ワークシートの歌詞に空欄の入ったものを準備する。

(イ) 単語や熟語表現の意味を確認し、ワークシートに書き込ませる。

(ウ) 楽曲を聞きながら、空欄に入る語を選択肢の中から選び、ワークシートに書き込ませる。

(エ) 教員による詩の解説を聞かせる。

(オ) 最も強く心に響いたメッセージを英語で書き取らせ、曲の感想を書かせる。

イ 暗記して、歌わせる指導の工夫を行う。

(ア) 何度も発音させて、少しずつ覚えさせ、歌わせる。

(イ) 学期末考査で歌詞を書かせることにより、定着を確認する。

(2) 英語による自己表現能力の向上のために、本文の内容についての英問英答を行い、自分自身の考えを英語で書き、発表し、評価し合う授業の工夫の手だて

(第3学年で実施)

ア ワークシートを用いて、本文の内容を理解させる。

(ア) 文の構造、単語、熟語の語法を確認しながら、理解させる。

(イ) あらかじめノートに書き写してある英文に、解説を記入させる。

(ウ) 設問に答えながら、ワークシートの空所に語句を記入させる。

イ 英問英答を通して、内容理解を深める。

(ア) 文の構造が複雑な英文を、パラフレーズして理解させる。

(イ) 英問英答を通して、本文の内容について英語で答えさせる。… **手だてA**

ウ 自分が訪れたい世界の観光都市の魅力と問題点について記述させる。… **手だてB**

(ア) 具体例や参考文献を示し、書くことへの抵抗感を和らげさせる。

エ 個人による発表と自己評価及び相互評価 … **手だてC**

(ア) 聞き取りのポイントと評価の観点を示す。

(イ) 今後の自己表現活動への自信と意欲につながるように評価し、激励する。

(3) 単元構想

1 単元名 Lesson 10 Sinking Venice			
2 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークにおいて、互いに協力しながら音読に積極的に取り組んでいる。 ・自分の意見を英語でまとめた内容をクラスメートに分かりやすく発表できる。 ・地盤沈下が激しい観光地の魅力と問題点を理解して簡潔に要約することができる。 ・世界の訪れたい観光都市について調べ、その都市の魅力と問題点についてまとめることができる。 			
3 単元の評価規準			
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・ペアワークにおいて、互いに協力しながら音読に積極的に取り組んでいる。	・自分の意見を英語でまとめた内容をクラスメートに分かりやすく発表できる。	・地盤沈下が激しい観光地の魅力と問題点を理解して簡潔に要約することができる。	・世界の訪れたい観光都市について調べ、その都市の魅力と問題点についてまとめることができる。
4 単元の概要と言語活動			
<p>本単元は、ベニスの地盤沈下に関する記事である。問題点を正確に読み取らせた上で、ワークシートにまとめさせ、正確に内容を読み取る能力を養う。また、自分が訪れたい世界の観光都市の魅力と問題点について考えをまとめ、発表し、評価し合うことにより英語による表現能力を養う。</p>			
5 単元の指導計画（全4時間） ※1時間：50分			
	学 習 活 動（生徒）	言語活動に関する指導上の留意点（教師）	
第1次 (2)	<p>【イントロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の観光都市の魅力と問題点について教師のオーラル・イントロダクションを聞く。 <p>【内容理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容についての説明を聞く。 ・新出単語の発音と意味の確認をする。 ・本文を、教師の後について、区切って読む。 ・ペアで交互に音読する。 ・本文を読み、True or False に答える。 ・英語で質問に答えながら、本文の概要を理解する。 ・地盤沈下が激しい観光地ベニスの問題点を簡潔に要約して、ワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界における観光都市の例を挙げ、興味をもたせる。 ・分かりにくい文を、できるだけ分かりやすい表現を使ってパラフレーズして提示し、生徒に理解させる。 ・大きな声で読ませる。 ・聞き手に正確に伝わるように、ゆっくりはっきりと発音させる。 ・ワークシートに答えを記入させる。 <p style="text-align: right;">手だてA</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、個別の支援をする。 	

第2次 (1)	【自己表現作文】 ・世界の訪れたい観光都市について調べ、その都市の問題点と魅力について英語でまとめる。	・発表用のレポートに英語で記入させる。 ・例文を提示し、ワークシートに訪れたい理由を3点、問題点とともに書き込ませる。 手だてB
第3次 (1)	【発表】 ・クラスの前で発表し、評価し合う。 ・大きな声で、ゆっくりと発表する。	・評価のポイントを事前に説明し、発表時に意識させる。ALTにも評価で協力してもらう。 手だてC

6 学習活動と新学習指導要領との関連

- 地盤沈下が激しい観光地の魅力と問題点を理解して簡潔に要約することができる。

イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 (コミュニケーション英語Ⅰ 2(1))

- 自分の意見を英語でまとめた内容をクラスメートに分かりやすく発表できる。

ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (コミュニケーション英語Ⅰ 2(1))

7 言語活動の充実の工夫

自己表現能力を向上させるためには、スピーキング能力だけでなくライティング能力も必要である。英作文は生徒にとって困難な活動であるが、次のような支援をする。

- ・英作文の手順が分かるように、ワークシートにあらかじめ作文の骨組みを提示する。
- ・具体的な例文やつながりを示す語句を提示して取り組みやすくする。
- ・ALTがいろいろな国の魅力と問題点を板書し、模範例として発表する。
- ・教員が生徒の英作文の誤りを指摘して訂正させたり、添削したりする。
- ・生徒が英作文を発表し相互評価する機会を設けて、活動への意欲をもたせる。

- 第2次【自己表現作文】の指導手順及び留意点

①〈どこの国の観光都市について書くのか決める〉教員が、世界各国の例を挙げ、ワークシートで具体的に指示する。到達可能レベルで、生徒にとって興味のある内容であることに留意する。



②〈論理的に文を構成する〉つながりを示す語句を利用して論理的な構成となるように指導する。



③〈教員が添削する〉生徒が書いた英文を、教員がチェックし添削する。口頭で、文法的な誤りを指摘し、正しい表現に訂正させる。



④〈クラスの前で発表し、評価し合う〉クラスの前で、個人で発表し、相互に評価しあう。評価の観点に留意し、正しい発音で、はっきり、ゆっくりと、大きな声で、発表するように励ますことで、発表することに対する意欲付けを行う。



⑤〈考査で正確に記述させる〉暗記して解答させ、ライティング能力として評価し、意欲を高める。

6 研究の実際と考察

(1) 英語の歌を聞いて、歌う。

単語の意味を確認後、楽曲を聞きながら空欄補充 → 曲の感想、好きなフレーズとその理由の記入
→ 少しずつ暗唱した後、歌う → 考査で評価

楽曲は、できるだけはっきりとした発音で歌われていて、口ずさみやすい曲を選んだ。世界の一流のトップアーティストによる、ゆっくりとしたバラード曲は、英語を聞き、そして理解する上で、最高のリスニング教材になる。楽曲によっては、クラスのムードを落ち着かせる癒し効果もあったようだ。生徒は、英語の歌を鑑賞するのを非常に喜んでいて。

空所に語句を記入するために、真剣に聞こうとする姿勢が必要になり、リスニングにより集中することができたようだ。また、好きなフレーズとその理由を書かせることにより、楽曲の詩を理解しようとする意欲も向上してきたようだ(資料1)。定期考査にも空所補充問題として出題すると予告したためか、英語の不得手な生徒も意欲的にかつ楽しみながら暗唱して歌うことができた(資料2)。

【資料1 楽曲に対する生徒のコメント】

Heal the World (Michel Jackson) について

〈曲の感想〉

- この曲は、とても良い曲で、世界を癒そうとしていて、とてもすごい曲だと思いました。
- 元気を出して、前に進もう、と言われていたような感じで、悲しい時に聞いたら元気が出そうだった。マイケルジャクソンの声が、落ち着く感じの声だった。良い歌だなと思った。
- タイトルと曲調がすごく合っていて、歌詞がどの部分も全て良くて、純粋な気持ちになれた。

〈好きなフレーズ、その理由〉

- There's a place in your heart. And I know that it is love.
And this place could be much brighter than tomorrow.
 - ・心の中にある愛という名の場所があるのなら、明日よりも明るい場所だと初めて、知ったから。
- Make a better place for you and me
 - ・もっと素敵な場所にしようというフレーズは、現在も消えかかっている命がある中で、今以上にすべての命を大切に思っているのなら、素敵な場所にしようと思いが強く感じられたから。
 - ・二人で、一緒ががんばろうと言われていたようで、自分は一人じゃないと勇気がでる一文だと思った。
- Love is strong
 - ・誰にでも、愛をもって、接することが大切だなと思った。そうすればみんなが幸せだと思う。
- We stop existing and start living.
 - ・ただ存在しているだけでなく、何か目標をもって生きようという問いかけが素敵で、自分も何かがんばろうと思えたから。

【資料2 活動に対する生徒の感想】

- 英語の歌が好き、もっと聞きたい、理解したい、歌いたい。
- 理解して歌うと感情がこめられる。聴くのが楽しい。
- 楽しかった。Hey Jude を好きになった。英語に興味をもてた。
- どんどん英語を覚えて英語をスラスラ言えるようにしたい。

(2) 自己表現活動

どこの国の観光都市について書くのか決める → 論理的に文を構成する → 教員が添削する
クラス員の前で、発表し、評価し合う → 考査で正確に記述

ア 自由英作文

自由英作文に積極的に取り組ませるために、題材は生徒が実際に訪れてみたい国を選ばせた。世界の観光都市の例を英文で生徒に示し、ALTに模範例を示してもらうことにより、書くことに対する抵抗感が和らぎ、表現することへの意欲向上につながったようだ。生徒は、たとえ困難でも英語を使って自分の考えを表現することは楽しいと感じ、自由に表現することへの意欲を述べている(資料3)。考査では、ほとんどの生徒が暗記してきた英文を正確に記述していた(資料4)。

今回の活動についてALTにコメントを依頼したところ、生徒のスピーチがはっきりと大きな声でできており、準備がしっかりできて自信をもっていたこと、そして、このようなスピーチを継続していけば生徒のスピーチの力が向上することが指摘された(資料5)。

【資料3 本単元学習後の生徒の感想】

- 自分の思っていることを考えたり、英文にするのは楽しい
- 覚えるのは、英語が苦手な難しいが、自由に考えるのは楽しい。
- 自分の考えを自由に英語で書けるようになりたい。
- 現在は、辞書を使って英文を書いたりしているけれど、辞書も使わないで文章を書けるようになりたい。
- 自分の好きなことを書ける自由英作文は、書く意欲が出る。

【資料4 生徒自由英作文による中間考査解答例】

I want to visit America.

First, New York and Los Angeles are the best places of entertainment. I want to feel real entertainments with the body there.

Second, I want to go to Sedona because it is a power spot.

Third, I want to watch baseball games of major leagues. I like baseball very much.

I know there are some problems in America. Many American people have guns. They are very dangerous. A lot of people have guns. Japanese people can't use guns. America has many places where they are not safe.

However I want to go to America after all. I want to see American real entertainment there. My sensitivity will be improved there.

【資料5 言語活動(自由英作文と発表)に対するALTのコメント】

Most important part of making a speech is having a clear voice.

All the students made clear and loud speeches, including all the girl students who tend to be shy and have soft voices. Everyone was well prepared for the speech and they looked confident. If they constantly make these kinds of speeches, they can really improve on their speaking skills.

イ 発表と評価

(ア) 個人による発表

スピーキング能力をつけていくためには、やはり発表の場を設ける必要がある。発表という緊張をともなう活動を促すための取組として、個人による発表を実施した。

個人による発表としては、生徒にとって興味・関心の高い内容について自由英作文を書かせ、教員が添削した後、ALTにも参加してもらって実施した。自分の興味のある内容なので、意欲的に文を考え、伝えようとする姿勢が見受けられた。聞いている生徒も、聞き取りのポイント理解した上で、評価を記入しなければならないので、意欲的に聞く態度ができていた。大きな声で顔を上げて発表することにより、英語による表現力の向上につながったようだ(資料6)。

【資料6 発表に対する生徒の感想】

○恥ずかしがらずに自分の思っていることを発表できた。

現在よりもっとすらすら英語を話せるようになりたい。

○人前で発表するのは、苦手で大きい声を出せなかったが、しっかり文章を作って発表できた。

現在よりも自分の考えを、英語で自由に話せるようになりたい。

(イ) 発表の相互評価

評価の方法としては、評価表を使って、クラスメートの評価させた。評価表には評価の観点を設定した(資料7)。評価することにより、生徒達は、聞く時は真剣に聞き、発表する時も、少しでも良い評価を得ようとする姿が見受けられた。聞いている生徒に内容を良く聞き取らせるためにも、聞き取りのポイントを示した。内容を正しく聞き取るために、真剣に聞くようになり、聞いてもらえるのならば真剣に話そうとするムードが生まれたようだ。発表では、正しい発音で、はっきり、ゆっくりと、大きな声で、発表することは重要なことだと理解できたようである。

【資料7 個人発表に対する評価表】

Who is the best presenter?					
Name	What country does A want to visit?	Why does A choose there?	Volume 大きさ	Fluency 流れ	Score
Mai	Hawaii	海で泳ぎたい	5	4	9
Yutaro	Paris	エッフェル塔を見たい	4	3	7

EXCELLENT	GOOD	NOT BAD	FIGHT
すごく良い	良い	そこそこ	がんばれ
5	4	3	2

BEST PRESENTER
 Mai

7 成果と課題

(1) 仮説1の検証

生徒は英語の歌を鑑賞するのを非常に喜んでいて、生徒に英語の歌について、アンケートを実施したところ、英語の歌を今後も聞きたいと回答した生徒は83%、好きな曲を理解して、歌いたいと回答した生徒は70%、英語の歌から伝わるメッセージを理解できると回答した生徒は64%であった。これらの結果から、ほとんどの生徒は、英語の歌を聞くのは楽しいし、理解して歌いたいと思うようになったことが分かった。美しい旋律を美しい声で歌っている曲を聞くことにより、英語の音声がもつ響きに対する興味・関心が高まり、詩の中にあるメッセージを理解しようとする意欲が高まってきたようだ。

(2) 仮説2の検証

自分の考えを英文で書くことは苦手な生徒が多い反面、自分の考えを自由に英語で書けるようになりたいという希望を抱いている生徒も多い。表現することへの抵抗感を低くするために、参考資料や、模範例などで、例文を示すことにより、生徒は、自分の考えを英文で書きやすくなった。また、個別指導でいろいろとアドバイスを行うことにより、自分でもやれるという自信につながった。実際、中間考査では、一生懸命練習して自分で書き上げた英文を暗記し、どの生徒もしっかりした記述が答案に書かれていた。課題考査で確認することにより、さらなる意欲向上と自信にもつながった。

クラスメートの前で発表することは、緊張の伴う活動である。生徒たちは、英語で話せるようになりたいという気持ちがある反面、クラスメートの前で発表するのが恥ずかしいという気持ちが働く。個別の発表では、緊張しながらも、理解してもらうために、ゆっくりと、大きな声で話す生徒や、ユーモアで引き付ける生徒もいた。評価し合うことにより、発表者には、少しでも上手に発表して、高得点を取り、褒めてもらいたいという心理も働いたようだった。上手に発表できた生徒にとっては、充実感と話すことへの自信へと、またうまく発表ができなかった生徒にとっても、上手な生徒のスピーチを聞くことにより、もっと上手に話したいという意欲向上につながった。クラスメートを教員だけではなく、生徒が評価することに意味があると思われる。また競争という意識をもたせると負けたくない、勝ちたいという心理が働き、生徒は意欲的にがんばる傾向がある。

(3) 今後の課題

世界平和を歌った曲や、永遠の愛を歌ったものは、生徒の心に響いたようだ。また、外国の文化に触れることにもなり、歌詞のもつ強いメッセージを生の音声を通して心で感じることができた。これをきっかけに英語の音声に興味をもち、意味を考えずに聞いていた曲を、理解して口ずさむようになり、英語の歌を通して、外国の文化に興味をもつようになり、学習意欲も高まっていくと思われる。生徒が、自分の好きな英語の歌を聞き、メッセージを正確に聞き取る努力をするように励ましていきたい。

内容のあるメッセージを伝えるためには、ライティングの能力が必要となってくる。生徒の就職のための面接練習で気付いたことだが、日本語のスピーキングにおいても、内容のあることを話す場合は、あらかじめ頭の中で整理された文が書けていないと、説得力のあるスピーキングを行うことはできない。論理の通った文の書き方や、正しい語法・文法で英作文をさせる学習を、日頃から授業に取り入れて積み重ねていくことにより、生徒の作文能力は上達していくと思われる。

また、発表という、生徒達には緊張を伴う活動をさせるためには、励まし続けることが重要になってくる。上手にできた生徒への賞賛により、生徒の学習意欲向上を促し、思うように表現できない生徒へは、根気強く励まし続けていきたいと思う。

【資料：生徒自由英作文例】 ※教師が添削したものを2例掲載する。

I'd like to visit Korea.

First I want to buy cosmetics because they are cheap and they have various kinds of them.

Second I want to eat many kinds of Korean foods.

Third I want to wear Chimacyogori.

I know some people don't like Japan.

However there are many places to visit and the food is great.

That is why I like to visit Korea.

I want to live in U.S.A forever.

First I want to see beautiful women that I've never seen.

Second I want to eat a lot of beef because it is so delicious and cheaper than in Japan.

Third I want to go to Olympia Washington because I have friends who live there.

A lot of disaster like hurricane always attack America.

Some people sometimes shoot somebody.

I'm afraid of living there honestly.

I have a friend who lives there. I don't want to lose relationships between us.

I also want to teach them Japanese in the future.